

挑戦的行動と 発達障害

園山繁樹 (監訳)

挑戦的行動と発達障害

シガフーズ, J. 他 著

園山繁樹 (筑波大学心身障害学系助教授) 監訳

A5版 / 並製カバー装 / 216頁 / 本体価格2800円+税

挑戦的行動 (challenging behavior) とは、自傷行動・他傷行動・物壊し・激しい怒りなど、周囲や自分に危険や害を及ぼす行動をいう。発達障害のある人の40%以上に見られるといわれることから、その介入は、提供すべきサービスの最優先課題といってもよい。本書は、この挑戦的行動についての理論的枠組みを明らかにし、そのアセスメント・改善・予防の方法まで俯瞰した書である。監訳者、前作『行動障害の理解と援助』に続く、快心の訳出。

● 主な目次 ●

第I部 挑戦的行動の定義と理論

1 挑戦的行動の定義と記述

はじめに
発達障害
用語
定義
出現率
イギリスにおける出現率調査
その他の出現率調査
分類
記述
要約と結論

2 挑戦的行動のリスク因子

はじめに
リスク因子
知的障害の程度 / 障害のタイプ / 性差 / 年齢 /
適応行動の機能レベル / 感覚障害 / 健康・医学的問題 / 場所
要約と結論

3 挑戦的行動の理論

はじめに
挑戦的行動の説明
挑戦的行動の本質
レスポナント行動とオペラント行動
強化と弱体化
行動レパートリー
反応オプションとしての挑戦的行動
要約と結論

第II部 サービス提供の基本問題

4 倫理的問題とQOL

はじめに
QOL
挑戦的行動に対する介入における倫理的問題
サービス提供と実践における意義
要約と結論

第III部 挑戦的行動のアセスメント

5 健康・医学的スクリーニング

はじめに
健康・医学的問題
精神保健
医学的問題と挑戦的行動

スクリーニング
生物-行動的状態
要約と結論

6 機能的アセスメント

はじめに
先行事象と結果事象
機能的アセスメントのタイプ
間接アセスメント法 / 直接アセスメント法 / スキャタープロ
ット法 / ABC記録法 / 機能的分析
要約と結論

第IV部 介入と予防

7 行動的教育介入

はじめに
挑戦的行動の継続モニタリング
先行事象の操作
結果事象の操作に基づく介入
注目に動機づけられた挑戦的行動への介入
注目の全体量を増やす / 適切行動に注目を与える /
消去 / 注目を得るためのスキルを教える
事物の獲得に動機づけられた挑戦的行動への介入
獲得できる事物を全体的に増やす / 適切行動に随伴して獲得さ
せる / 消去 / 適切な要求スキルを教える
逃避に動機づけられた挑戦的行動への介入
活動への参加を強化する / 逃避消去 / 課題の難易度を下げる /
課題の好み / 課題の長さ / 移行の困難性
感覚刺激に動機づけられた挑戦的行動への介入
環境豊穡化法 / 選択機会の設定 / 非両立行動を強化する
要約と結論

8 早期介入と予防

はじめに
早期介入
出現率
社会的コンピテンス
生態学的視点
本人中心型介入
家族中心型介入
文脈中心型介入
サービス提供と実践に対する意義
要約と結論